

# 必修問題

## 目標 I 看護の社会的側面および倫理的側面について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 健康の定義と理解	A 健康の定義	1	a 世界保健機関 (WHO) の定義	1	健康と社会・生活 4章1節 健康とは: WHOの健康の定義 (p.78) 看護学概論 3章1節5項 WHOの定義 (p.81-82)
			b ウェルネスの概念	0	看護学概論 3章1節6項 ウェルネス (ダンの定義) (p.82) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 1章2節3項 ウェルネス (p.24)
	B 健康に関する指標	32	a 総人口	1	社会福祉と社会保障 4章4節1項 高齢者保健福祉施策の社会的背景 (p.120-121) 高齢者の健康と障害 1章1節3項 人口の高齢化 (p.13-15)
			b 年齢別人口	7	社会福祉と社会保障 4章4節1項 高齢者保健福祉施策の社会的背景 (p.120-121) 高齢者の健康と障害 1章1節3項 人口の高齢化 (p.13-15)
			c 労働人口	0	健康と社会・生活 3章2節3項 女性のライフコースの変化 (p.62), 4節2項 育児機能 (p.69)
			d 将来推計人口	1	健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23-24) 社会福祉と社会保障 4章4節1項 高齢者保健福祉施策の社会的背景 (p.120-121)
			e 世帯数	4	社会福祉と社会保障 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.89), 4節5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.127) 高齢者の健康と障害 2章1節2項 高齢者がいる家族 (p.63-65)
			f 婚姻、家族形態	0	健康と社会・生活 3章1節3項 家族の個人化と多様化 (p.58-59) 社会福祉と社会保障 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.86-87) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 3章3節 家族形成に関する統計 (p.51-52) 情緒発達と精神看護の基本 5章3節1項 結婚 (p.82-84), 2項 子育て (p.84-85)
			g 出生と死亡の動向	6	健康と社会・生活 1章6節4項 高齢化 (p.23-24) / 3章4節2項 育児機能 (p.69) / 8章6節1項 世界の人口動態 (p.141-142) 公衆衛生 4章6節1項 既存資料の利用 (p.70-73) 社会福祉と社会保障 4章1節4項 子育て支援・少子化対策に関する施策 (p.86-87) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 3章1節 出生に関する統計 (p.44-45), 2節 死亡に関する統計 (p.46-51)
			h 死因の概要	7	看護学概論 3章2節4項 医療と政策 (p.85) / 4章2節 小児期から成人期の概念 (p.96, 98, 100), 3節1項 老年期 (p.101) 成人看護学概論 2章3節 成人各期の健康問題 (p.37-40) 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.19-20)
			i 平均余命、平均寿命	6	公衆衛生 1章1節2項 どうしてこんなにようになったのか (p.14) / 4章6節 統計情報の収集と見方 (p.75-76) 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.15-16)
			C 受療状況	9	a 有訴者の状況
	b 有病率、罹患率	1			公衆衛生 4章1節2項 集団の特徴を表す方法 (健康指標) と使い方 (p.56-57)
	c 受療行動、受療率	3			成人看護学概論 2章3節 成人各期の健康問題 (p.36-37)

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
1 健康の定義と理解	C 受療状況	9	c 受療行動、受療率	3	高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.16-19)
			d 入院期間	1	看護学概論 11章2節1項 継続看護 (p.225) / 12章2節4項 クリニカルパス (p.239)
			e 外来受診の状況	1	公衆衛生 9章1節2項 歯科疾患の特徴と現状 (p.150) 高齢者の健康と障害 1章1節4項 健康指標からみた高齢者の理解 (p.16-19)
2 健康に影響する要因	A 生活行動・習慣	16	a 食事と栄養	5	臨床栄養学 1章2節 栄養とは (p.12-42) 基礎看護技術 13章1節 食事・栄養の意義 (p.264-265), 3節 食事と栄養に関する基礎知識 (p.269-275)
			b 排泄	0	基礎看護技術 14章1節 排尿・排便の意義 (p.290)
			c 活動と運動、レクリエーション	5	基礎看護技術 10章1節 活動・運動の意義 (p.192)
			d 休息と睡眠	0	基礎看護技術 11章1節 休息・睡眠の意義 (p.220-221), 2節 休息・睡眠の生理学的メカニズム (p.221-226)
			e 清潔と衣生活	0	基礎看護技術 12章1節 清潔の意義 (p.236)
			f 喫煙、嗜好品	4	公衆衛生 8章4節2項 喫煙 (p.142), 6項 アルコール (p.144-145)
			g ストレス	2	看護学概論 2章4節2項 ストレスと適応の基本概念 (p.67-69) 情緒発達と精神看護の基本 2章2節3項 ストレスとストレッサー (p.35-37), 4項 適応と不適応 (p.37-39) / 4章1節 ライフサイクルとストレス (p.60), 2節 ライフサイクル各期における特徴と危機 (p.60-71)
			h メンタルヘルス	0	公衆衛生 15章2節7項 健康管理 (p.247-248) 小児の発達と看護 2章4節4項 学童によくみられる健康問題 (p.146), 5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.157-158) 情緒発達と精神看護の基本 1章1節 こころの健康とは (p.12), 3節 社会の変化とメンタルヘルス (p.18-19) / 5章2節 現代社会とこころの問題 (p.76-81)
			i ライフスタイル	0	健康と社会・生活 2章7節 ライフスタイル・生活様式と保健・医療・看護 (p.41-47)
			j 性行動	0	成人看護学概論 10章2節1項 リプロダクティブ・ヘルスの指標の国際比較 (p.170), 2項 望まない妊娠 (p.171), 3項 性感染症 (p.171-172) 小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.161-162) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 6章6節1項 性行動 (p.114-116) / 7章2節 性感染症 (p.127-133)
	B 生活環境	9	a 水質、大気、土壌	3	公衆衛生 16章3節 大気汚染 (p.265-268), 5節 地球環境の問題 (p.270-272), 6節 水道 (p.272-276), 8節 放射線・放射能 (p.282-285)
			b 食品衛生	2	公衆衛生 16章2節 食品保健 (p.261-265)
			c 住環境	4	公衆衛生 16章7節 居住環境 (p.277-281)
C 社会環境	13	a 職業と疾病	7	公衆衛生 15章3節 職業性疾病の概要 (p.248-251) 成人看護学概論 8章1節 職業性疾病および業務上疾病 (p.146), 2節 職業性疾病の予防と対応 (p.147-151)	
		b 労働環境、雇用形態	5	健康と社会・生活 1章6節 現代社会の特徴と社会変動 (p.20-26) / 2章7節1項 ライフスタイルと社会経済 (p.42-43) 公衆衛生 15章2節1項 労働衛生行政の歴史と現状 (p.239-240) 成人看護学概論 2章2節2項 社会における役割 (p.34-35)	
		c ワーク・ライフ・バランス	1	健康と社会・生活 3章2節3項 女性のライフコースの変化 (p.62-63) 成人看護学概論 4章2節2項 生活の場 (p.77-84)	
		d 母性保護	0	健康と社会・生活 3章4節2項 育児機能 (p.69-71) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 5章2節 女性の就労に関する法律 (p.79-81)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
3 看護で活用する社会保障	A 医療保険制度の基本	11	a 医療保険の種類	2	社会福祉と社会保障 7章2節3項 医療保険制度のしくみ (p.173-183) 看護をめぐる法と制度 5章1節 図5.1-1 「医療保険制度の体系」 (p.204)
			b 国民皆保険	2	社会福祉と社会保障 7章2節3項 医療保険制度のしくみ (p.173) 看護学概論 10章2節2項 医療サービスの場 (p.203)
			c 国民医療費	2	看護学概論 3章2節4項 医療と政策 (p.85) / 10章4節 保健・医療・福祉におけるケア提供の経済 (p.211)
			d 高齢者医療制度	1	社会福祉と社会保障 7章2節4項 高齢者医療制度 (p.183-185) 看護をめぐる法と制度 5章1節7項 高齢者医療確保法 (p.214-216) 高齢者の健康と障害 2章3節3項 高齢者の医療の確保に関する法律に基づく制度 (p.81-82)
			e 給付の内容	4	社会福祉と社会保障 7章2節3項 医療保険制度のしくみ (p.176-182) 看護をめぐる法と制度 5章1節1項 健康保険法 (5) 保険給付 (p.205-208), 2項 国民健康保険法 (5) 保険給付 (p.209), 3項 船員保険法 (5) 保険給付 (p.210), 4項 国家公務員共済組合法 (5) 保険給付 (p.211), 5項 地方公務員等共済組合法 (5) 保険給付 (p.212-213), 6項 私立学校教職員共済法 (5) 保険給付 (p.213), 7項 高齢者医療確保法 (4) 後期高齢者医療制度●保険給付● (p.215)
	B 介護保険制度の基本	12	a 保険者	2	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.189-190) 看護をめぐる法と制度 5章1節8項 介護保険法 (2) 保険者 (p.217) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82)
			b 被保険者	4	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.190-191) 看護をめぐる法と制度 5章1節8項 介護保険法 (3) 被保険者 (p.217-219) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.246) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82)
			c 給付の内容	1	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.193-196) 看護をめぐる法と制度 5章1節8項 介護保険法 (5) 保険給付の種類と内容 (p.221-222) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-86)
			d 要介護・要支援の認定	3	社会福祉と社会保障 7章3節2項 介護保険制度のしくみ (p.191-193) 看護をめぐる法と制度 5章1節8項 介護保険法 (4) 要支援・要介護認定 (p.219-221) 健康危機状況／セルフケアの再獲得 5章4節2項 介護保険制度 (p.246) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.82-83)
			e 地域支援事業	0	公衆衛生 7章2節1項 高齢者の保健医療に関わる法律とその内容 (p.124) 社会福祉と社会保障 7章3節3項 介護保険制度の課題 (p.199) 看護をめぐる法と制度 5章1節8項 介護保険法 (7) 地域支援事業 (p.225-227) 高齢者の健康と障害 2章3節4項 介護保険制度 (p.85)
4 看護における倫理	A 基本的人権の擁護	10	a 個人の尊厳	0	看護学概論 1章3節 看護実践のための基準 (p.31) / 9章1節4項 法の形からの分類 (p.173) 看護研究 7章1節 倫理とは何か (p.126-127)
			b 患者の権利	3	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識 (看護倫理で活用する判断基準) (p.136) 基礎看護技術 2章4節2項 看護と人権 (p.35) 看護研究 7章3節1項 五つの権利 (p.130-132) 臨床看護総論 3章6節3項 医療実践における倫理：医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158)
			c 自己決定権と患者の意思	1	看護をめぐる法と制度 7章1項 医療行為における患者の同意と自己決定 (p.330-331) 看護学概論 6章1節 看護倫理とは (p.126)

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
4 看護における倫理	A 基本的人権の擁護	10	c 自己決定権と患者の意思	1	看護研究 7章3節1項 五つの権利 (p.130) 臨床看護総論 3章6節3項 医療実践における倫理：医療者としての責務と患者の権利 (p.157-158)
			d インフォームド・コンセント	3	看護をめぐる法と制度 7章 インフォームドコンセント (p.330-335) 看護学概論 1章3節4項 指針・ガイドライン (p.35)／6章2節3項 看護研究における倫理 (p.128) 基礎看護技術 2章4節3項 インフォームドコンセントと看護者の役割 (p.35) 看護研究 7章3節2項 人権擁護の方法 (p.132-133) 医療安全 1章1節2項 医療安全に関わる動向 (p.13)
			e ノーマライゼーション	2	健康危機状況／セルフケアの再獲得 4章3節1項 依存と自立の概念 (p.194-195)／5章2節3項 社会生活レベルのセルフケア再獲得への支援 (p.233-234) リハビリテーション看護 2章6節 ノーマライゼーション (p.40-41)
			f 情報管理(個人情報保護)	1	看護をめぐる法と制度 6章4節1項 個人情報保護法 (p.284-288) 看護学概論 12章1節2項 マネジメントの対象となる資源 (p.232) 基礎看護技術 7章1節3項 安全管理対策 (p.141-142)
	B 倫理原則	2	a 自律尊重	0	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準) (p.134-135) 看護管理 4章1節3項 倫理的葛藤 (p.117-118) 在宅療養を支える技術 1章1節5項 訪問の手順と倫理・心構え (p.16)
			b 善行	0	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準) (p.134-135) 看護管理 4章1節3項 倫理的葛藤 (p.117-118) 在宅療養を支える技術 1章1節5項 訪問の手順と倫理・心構え (p.16)
			c 公正、正義	1	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準) (p.134-135) 看護管理 4章1節3項 倫理的葛藤 (p.117-118) 在宅療養を支える技術 1章1節5項 訪問の手順と倫理・心構え (p.16)
			d 誠実、忠誠	0	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準) (p.134-135) 在宅療養を支える技術 1章1節5項 訪問の手順と倫理・心構え (p.16)
			e 無危害	0	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準) (p.134-135) 看護管理 4章1節3項 倫理的葛藤 (p.117-118) 在宅療養を支える技術 1章1節5項 訪問の手順と倫理・心構え (p.16)
	C 看護師等の役割	6	a 説明責任	0	看護学概論 1章2節5項 エビデンスに基づく看護 (p.29-30) 基礎看護技術 2章4節3項 インフォームドコンセントと看護者の役割 (p.35) 看護管理 4章1節1項 看護実践倫理 (p.111-112)
			b 倫理的配慮	1	看護学概論 6章2節2項 看護実践における倫理 (p.127), 3項 看護研究における倫理 (p.127-128) 看護研究 7章3節 研究において擁護されるべき権利 (p.130-134)
			c 権利擁護(アドボカシー)	1	看護学概論 6章5節2項 倫理的判断に必要な基本的知識(看護倫理で活用する判断基準) (p.134) リハビリテーション看護 3章2節2項 障害者のアドボカシー (p.50) 看護管理 4章1節1項 看護実践倫理 (p.110-111)
			d エンパワメント	0	成人看護学概論 6章3節1項 エンパワメントモデル (p.116-117), 2項 エンパワメント・アプローチのプロセス (p.117-119), 3項 医学モデルとエンパワメントモデルの実際 (p.120-121) リハビリテーション看護 2章7節 エンパワメント (p.42)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
5 看護に関わる基本的法律	A 保健師助産師看護師法	12	a 保健師助産師看護師の定義	0	看護をめぐる法と制度 3章1節1項「条文を読んでみよう」(p.52) 看護学概論 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.179-180) 看護管理 8章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.200-201) 医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.20)
			b 保健師助産師看護師の業務	4	看護をめぐる法と制度 3章1節1項 保健師助産師看護師法〈看護師〉(p.56-58), 1項 保健師助産師看護師法〈保健師〉(p.68), 1項 保健師助産師看護師法〈助産師〉(p.72-73) 看護学概論 1章2節3項 看護実践のための教育の準備 (p.27) / 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.181-183) 看護管理 8章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.201) 医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.21), 3項 看護業務の変遷と安全管理 (p.22-26)
			c 保健師助産師看護師の義務(守秘義務、業務従事者届出の義務、臨床研修等を受ける努力義務)	4	看護をめぐる法と制度 3章1節1項 保健師助産師看護師法〈看護師〉(p.58-59), 1項 保健師助産師看護師法〈助産師〉(p.58, 73) 看護学概論 9章2節1項 保健師助産師看護師法 (p.181, 183) 看護管理 8章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.203) 医療安全 1章2節2項 看護師の法的規定 (p.21-22)
			d 養成制度	0	看護をめぐる法と制度 3章1節1項 保健師助産師看護師法〈看護師〉(p.59-60), 1項 保健師助産師看護師法〈保健師〉(p.68-69), 1項 保健師助産師看護師法〈助産師〉(p.74-75) 看護学概論 1章2節3項 看護実践のための教育の準備 (p.25-28) 看護管理 8章1節3項 保健師助産師看護師法 (p.202)
	B 看護師等の人材確保の促進に関する法律	4	a 基本方針	0	看護をめぐる法と制度 3章1節2項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (1) 法律の概要 (p.76) 看護管理 8章1節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.203)
			b ナースセンター	0	看護をめぐる法と制度 3章1節2項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.77-78) 看護管理 8章1節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (p.204)

**目標Ⅱ** 看護の対象および看護活動の場と看護の機能について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
6 人間の特性	A 人間と欲求	8	a 基本的欲求	6	看護学概論 2章1節3項 動機付けられる存在(ニードをもつ存在) (p.60-61) ヘルスアセスメント 6章1節1項 マズローの基本的欲求の理論 (p.258)
			b 社会的欲求	2	看護学概論 2章1節3項 動機付けられる存在(ニードをもつ存在) (p.60-61)
	B 対象の特性	5	a QOL	4	看護学概論 6章3節1項 個人のもつ価値 (p.129) 成人看護学概論 5章3節6項 Quality of Life (QOL) (p.100-101) リハビリテーション看護 2章5節 QOL : quality of life (p.39)
			b ニーズ	0	看護学概論 2章3節1項 対象理解と看護アセスメントの枠組み(視点) (p.63-64) / 5章3節1項 ニード理論 (p.106-107), 4節2項 ヘンダーソン (p.111-112), 3項 オレム (p.112-114), 4項 ウィーデンバック (p.114-116)
			c 健康や疾病に対する意識	0	看護学概論 2章3節2項 健康障害とその影響 (p.64-66) 成人看護学概論 5章1節 主要な健康観 (p.94-96), 4節 保健行動と健康観 (p.102-104) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 1章1節1項 成人にとっての健康とは (p.14-15)
d 疾病・障害の受容	1	看護学概論 2章4節4項 ストレスを軽減させる看護活動 (p.76-77) リハビリテーション看護 6章1節1項 障害受障後の心理社会的反応 (p.162-163), 2項 自己概念と障害受容 (p.163-165)			
7 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	A 胎児期	7	a 形態的発達と異常	5	臨床生化学 7章 先天性代謝異常 (p.132-136) 病態生理学 1章8節3項 先天異常の分類 (p.82-85), 4項 先天異常の発生頻度 (p.85)

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
7 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	A 胎児期	7	a 形態的発達と異常	5	運動機能障害 5章4節2項 主な疾患 (p.75-76) 小児の疾患と看護 2章 遺伝性疾患・染色体異常 (p.30-46) / 3章1節 新生児マススクリーニング対象疾患 (newborn mass screening) (p.48-49), 9節 性分化疾患 (disorder of sex development : DSD) (p.64-66) / 7章1節 心室中隔欠損症 (p.144-146), 2節 心房中隔欠損症 (p.146-148), 3節 房室中隔欠損症 (p.149-151), 5節 ファロー四徴症 (p.154-156), 6節 完全大血管転位症 (p.156-158) / 8章4節 先天性水腎症 (congenital hydronephrosis) (p.168-170) / 10章3節 血友病 (hemophilia) (p.198-200) / 12章 外科疾患 (p.234-274) 母性看護の実践 2章2節3項 胎児の成長 (p.28-30) / 3章7節 妊娠期の感染症 (p.101-107) / 10章8節2項 分娩外傷 (p.311-312), 11節 先天異常がある新生児 (p.317-322) / 11章2節1項 不妊治療後の妊娠において生じる問題 (p.331)
	B 新生児・乳児期	19	a 発達の原則	3	ヘルスアセスメント 4章2節1項 成長・発達のアセスメントに必要な基礎知識 (p.210-212) 小児の発達と看護 2章1節1項 成長・発達の一般的原則 (p.76-77)
			b 身体の発育	11	ヘルスアセスメント 4章2節2項 身体発育に関するアセスメント (p.214-219) 小児の発達と看護 2章2節2項 形態的成長・発達の特徴 (p.77-79), 3項 機能的発達の特徴 (p.80-86)
			c 運動能力の発達	1	ヘルスアセスメント 4章2節3項 乳幼児の精神・運動機能の発達評価方法 (p.220) 小児の発達と看護 2章2節3項 機能的発達の特徴 (p.84-86) 運動機能障害 7章3節1項 小児の運動機能障害の特徴と代表的な疾患 (p.121-122)
			d 栄養	2	臨床栄養学 3章3節1項 乳幼児期 (p.99-103) 小児の発達と看護 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.89-91) 母性看護の実践 7章2節1項 母乳育児の恩恵 (p.219-220)
			e 親子関係	1	小児の発達と看護 1章5節4項 親子関係論 (p.65-68) / 2章2節6項 乳児のセルフケアの発達と看護 (p.93) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 1章1節2項 愛着理論 (p.16-17), 3項 ボンディングと親子相互作用 (p.17-18) 情緒発達と精神看護の基本 3章3節 母子関係の発展 (p.55-58) / 4章2節1項 乳幼児期 (0～6歳ごろ) (p.60-61)
	C 幼児期	7	a 身体の発育	3	ヘルスアセスメント 4章2節2項 身体発育に関するアセスメント (p.214-219) 小児の発達と看護 2章3節2項 形態的成長・発達の特徴 (p.99-100), 3項 機能的発達の特徴 (p.100-102)
			b 運動能力の発達	0	小児の発達と看護 2章3節6項 幼児期の子どものセルフケアの発達と看護 (p.125-131)
			c 言語の発達	1	小児の発達と看護 2章3節4項 心理・社会的発達 (p.103-106)
			d 社会性の発達	0	小児の発達と看護 2章3節4項 心理・社会的発達 (p.102-106), 6項 幼児期の子どものセルフケアの発達と看護 (p.129-131) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 2章5節1項 性同一性 (p.37) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節1項 乳幼児期 (0～6歳ごろ) (p.61)
			e 基本的生活習慣の確立	0	小児の発達と看護 2章3節6項 幼児期の子どものセルフケアの発達と看護 (p.129-131) 運動機能障害 7章3節2項 運動機能障害がある小児の日常生活の観察 (p.122-123)
	D 学童期	1	a 運動能力の発達、体力の特徴	0	小児の発達と看護 2章4節2項 身体的成長 (p.134-137), 3項 機能的発達 (p.139-140)
			b 社会性の発達	0	小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.137-141) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節2項 学童期 (6～12歳ごろ) (p.62-63)
			c 学習に基づく行動	0	小児の発達と看護 2章4節3項 機能的発達 (p.137-141)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
7 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	E 思春期	9	a 第二次性徴	4	ヘルスアセスメント 4章1節1項 母性のアセスメントに必要な基礎知識 (p.200-201) 小児の発達と看護 2章5節2項 身体的成長 (p.152-153) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 6章3節 第二次性徴 (p.104-106)	
			b アイデンティティの確立	2	小児の発達と看護 2章5節1項 思春期とは (p.150-151) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 6章3節4項 心理・社会的変化 (p.105) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節4項 青年期 (18~25歳ごろ) (p.64-65)	
			c 親からの自立	3	小児の発達と看護 2章5節3項 機能的発達 (p.154-155), 5項 思春期の人々のセルフケアの発達と看護 (p.162-163) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 6章3節4項 心理・社会的変化 (p.105) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節3項 思春期 (12~18歳ごろ) (p.63-64)	
			d 異性への関心	0	小児の発達と看護 2章5節4項 思春期の人々によくみられる健康問題 (p.161-162) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 2章5節2項 性的指向 (p.37-38)/6章3節4項 心理・社会的変化 (p.105) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節3項 思春期 (12~18歳ごろ) (p.63-64)	
	F 成人期	7	a 社会的責任と役割	0	成人看護学概論 2章2節 成人の役割 (p.32-35) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節5項 成人期 (25 ~ 40歳ごろ) (p.65-67), 6項 中年期 (40 ~ 65歳ごろ) (p.67-69)	
			b 生殖機能の成熟と衰退	3	概論・リプロダクティブヘルスと看護 6章4節 性周期 (p.106-110)/9章1節1項 身体的特徴 (p.168-169)	
			c 基礎代謝の変化	3	臨床栄養学 3章3節4項 成人期 (p.107-108) ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養/代謝パターンのアセスメント (p.283-285)	
	G 老年期	10	a 身体的機能の変化	6	臨床栄養学 3章3節6項 高齢期 (p.114-122) 運動機能障害 7章5節 高齢者の運動機能障害のアセスメント (p.126-127) 高齢者の健康と障害 1章5節1項 身体機能の生理的变化 (p.42-46)	
			b 認知能力の変化	2	高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.51-53)	
			c 心理社会的変化	0	成人看護学概論 2章1節2項 成人各期の特徴 (p.31-32) 高齢者の健康と障害 1章5節2項 心理・精神機能の変化 (p.49-55) 情緒発達と精神看護の基本 4章2節7項 老年期 (65歳以上) (p.69-71)	
	8 看護の対象としての患者と家族	A 家族の機能	4	a 家族関係	2	健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章5節1項 家族または重要他者との関係性 (p.104-109) 情緒発達と精神看護の基本 7章2節 家族をみる視点 (p.103-108) 地域療養を支えるケア 2章3節1項 家族とは (p.52-57)
				b 家族構成員	2	健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章5節1項 家族または重要他者との関係性 (p.104-109) 地域療養を支えるケア 2章3節1項 家族とは (p.52-57)
c 疾病が患者・家族に与える心理・社会的影響				0	健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章5節2項 家族についてのアセスメント方法 (p.109-115) リハビリテーション看護 6章2節1項 障害のある人と家族 (p.167-169), 2項 障害に対する家族の心理社会的反応 (p.169-170) 緩和ケア 9章2節 緩和ケアを受ける患者の家族が体験する問題 (p.257-259) 情緒発達と精神看護の基本 7章4節 精神疾患と家族 (p.112-117)	
B 家族形態の変化		3	a 家族の多様性	0	健康と社会・生活 3章1節3項 家族の個人化と多様化 (p.58-59) 地域療養を支えるケア 2章3節1項 家族とは (p.52-57)	
			b 構成員の変化	3	地域療養を支えるケア 2章3節1項 家族とは (p.52-57)	

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
9 主な看護活動の場と看護の機能	A 看護活動の場と機能	18	a 病院	3	看護をめぐる法と制度 4章2節1項 医療法 (p.179-181) 看護学概論 10章2節2項 医療サービスの場 (p.203) 臨床看護総論 3章1節2項 病院内で配属される部署 (p.104-105)
			b 診療所	3	看護をめぐる法と制度 4章2節1項 医療法 (p.179) 看護学概論 10章2節2項 医療サービスの場 (p.203)
			c 助産所	0	看護をめぐる法と制度 4章2節1項 医療法 (p.181) 医療安全 2章2節2項 日本助産師会 (p.45-47)
			d 訪問看護ステーション	3	看護学概論 10章3節3項 多職種で取り組む保健・医療・福祉 (p.209), 4節 保健・医療・福祉におけるケア提供の経済 (p.212) 地域療養を支えるケア 5章2節 在宅ケアを支える訪問看護ステーション (p.170-176) 看護管理 1章2節4項 看護師等の人材確保の促進に関する法律から今日まで (p.23)
			e 介護保険施設	4	看護をめぐる法と制度 5章1節8項 介護保険法 (6) 介護保険施設 (p.222-225) 地域療養を支えるケア 3章2節2項 医療施設や介護施設との連携 (p.86) / 4章4節3項 介護予防サービス・介護サービスの給付手続き (p.120-124)
			f 地域包括支援センター	1	社会福祉と社会保障 2章3節4項 社会福祉と保健の連動の場と重要性 (p.52) / 4章4節5項 地域における高齢者保健福祉の課題 (p.128-129) 看護をめぐる法と制度 5章1節8項 介護保険法 (7) 地域支援事業 (p.225-227) 看護学概論 10章3節3項 多職種で取り組む保健・医療・福祉 (p.205, 207) 地域療養を支えるケア 3章1節3項 地域包括ケアシステムとは (p.75) / 4章4節4項 地域包括支援センター (p.124)
			g 市町村	2	看護をめぐる法と制度 6章1節7項 地域保健法 (p.275) 看護学概論 10章2節1項 保健サービスの場 (p.200-201)
			h 保健所	0	公衆衛生 2章3節 保健所の役割とその変化 (p.27-33) / 12章1節3項 保健所における健康危機管理の業務 (p.199-200) 看護をめぐる法と制度 6章1節7項 地域保健法 (p.275) 看護学概論 10章2節1項 保健サービスの場 (p.200-201)
			i 学校	0	公衆衛生 14章2節3項 保健教育 (p.226-227) 看護をめぐる法と制度 4章2節10項 学校保健安全法 (p.202-203)
			j 企業	0	公衆衛生 15章4節4項 産業看護活動の特徴 (p.253-255) 看護をめぐる法と制度 6章8節 労働政策に関する法律 (p.304-317)
	B 看護の機能と役割	9	a 訪問看護	1	看護学概論 序章3項 看護の広がり (p.14) / 10章3節3項 多職種で取り組む保健・医療・福祉 (p.209) 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 3章4節1項 訪問看護での健康危機状況 (p.139) 小児の発達と看護 3章8節4項 在宅療養を行う子どもと家族への看護 (p.281-283) 地域療養を支えるケア 1章2節2項 在宅看護と訪問看護 (p.25) / 5章1節1項 訪問看護とは (p.164)
			b チーム医療	2	看護学概論 10章3節2項 チームの中における看護者のコーディネート機能 (p.205) / 11章1節1項 チームアプローチ (p.222-223) 臨床看護総論 3章1節3項 チーム医療の機会 (p.105-108), 6節1項 多職種の連携と協働が必要なこと (p.153-154) 健康危機状況 / セルフケアの再獲得 5章3節1項 医療・福祉関連職種によるチームアプローチ (p.238-241) 看護管理 2章1節2項 医療機関の組織構造 (p.38-39) / 4章2節5項 医療安全とチーム医療, ノンテクニカルスキル (p.125), 3節3項 クリニカルインディケーター (p.132-133) 医療安全 1章1節2項 医療安全に関わる動向 (p.15)
			c 退院調整	1	看護学概論 11章2節5項 退院調整 (p.227-228) 精神障害と看護の実践 7章3節1項 在宅療養への調整とは (p.211-212)
			d 入院のオリエンテーション (入院相談)	0	周術期看護 1章 周術期に関連する基礎知識 (p.12) / 4章1節3項 ボディイメージの受容や心理的ストレスへの対処に向けた援助 (p.60-62)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
9 主な看護活動の場と看護の機能	B 看護の機能と役割	9	d 入院のオリエンテーション (入院相談)	0	高齢者看護の実践 3章5節3項 入院時のオリエンテーション (p.271)
			e 地域医療連携	1	地域療養を支えるケア 3章2節1項 医療機関における入退院時の連携 (p.77-85) 看護管理 3章2節2項 多職種連携の中での看護管理 (p.72-73)
			f 家族との調整	1	基礎看護技術 3章1節2項 患者と家族のセルフケアを支援する活動 (p.42-50) 地域療養を支えるケア 2章4節2項 家族関係の調整 (p.62-63)

### 目標Ⅲ

看護に必要な人体の構造と機能および健康障害と回復について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
10 人体の構造と機能	A 人体の基本的な構造と正常な機能	47	a 内部環境の恒常性	2	解剖生理学 1章3節 ホメオスタシス (恒常性) (p.25) 病態生理学 1章1節1項 体液の恒常性 (p.17-19) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章1節1項 ホメオスタシスと内分泌系, 腎・泌尿器系 (p.18-19)
			b 神経系	5	解剖生理学 13章 神経系 情報を収集して判断し, 伝達するしくみ (p.324-325) 疾患⑤脳・神経 1章 脳・神経の構造と機能 (p.12-19) 脳・神経機能障害/感覚機能障害 【図解】神経系 (p.10-11) ヘルスアセスメント 3章13節1項 神経系の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.168-171)
			c 運動系	4	解剖生理学 11章 骨格系 体を支えるしくみ (p.276-277)/12章 筋系 体を動かすしくみ (p.302-303) 疾患⑦運動器 1章 運動器の構造と機能 (p.16-24) 運動機能障害 【図解】骨格系・筋系 (p.10-15) ヘルスアセスメント 3章12節1項 筋・骨格系の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.152-155) 基礎看護技術 10章2節1項 運動の神経支配と骨格筋の収縮 (p.192-193)
			d 感覚器系	0	解剖生理学 14章 感覚系 外部から情報を取り入れるしくみ (p.362-363) ヘルスアセスメント 3章5節1項 鼻・耳・口腔/咽頭の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.70-73), 6節1項 眼の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.80-82) 疾患⑥眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚 1章 眼の構造と機能 (p.18-23)/17章 耳鼻咽喉の構造と機能 (p.136-142)/29章 歯・口腔の構造と機能 (p.256-261)/39章 皮膚の構造と機能 (p.358-361)
			e 循環器系	4	解剖生理学 5章 循環器系 体のすみずみまで血液を送るしくみ (p.100-101) 病態生理学 1章2節1項 循環とは (p.31) 疾患②循環器 1章 循環器の構造と機能 (p.12-16) 呼吸機能障害/循環機能障害 【図解】循環器系 (p.14-15)/序章 呼吸・循環のしくみ (p.18-19)/6章1節1項 循環器と循環機能 (p.136-138) ヘルスアセスメント 3章8節1項 心臓・血管系の構造と機能: アセスメントの根拠になる復習事項 (p.99-102)
			f 血液、体液	7	解剖生理学 4章 血液 物質を運搬するしくみ (p.84-98)/8章1節3項 血液成分の調節 (p.202-210) 病態生理学 1章1節1項 体液の恒常性 (p.17-19) 疾患④血液/アレルギー・膠原病/感染症 1章 血液の組成と機能 (p.16) 造血機能障害/免疫機能障害 【図解】血液 (p.10-11) 呼吸機能障害/循環機能障害 序章1節2項 呼吸と循環との関係 (p.18-19) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章2節1項 体液を調節するしくみ (p.23)
			g 免疫系	1	解剖生理学 15章 免疫系 異物を認識, 記憶して排除するしくみ (p.392-393)

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
10 人体の構造と機能	A 人体の基本的な構造と正常な機能	47	g 免疫系	1	病態生理学 1章4節1項 免疫とは (p.45), 2項 免疫の働きと調節 (p.45-48) 臨床微生物・医動物 4章2節 感染防御機構の基礎 (p.188-194) 造血機能障害/免疫機能障害 【図解】 免疫系 (p.12-13) 疾患④血液/アレルギー・膠原病/感染症 10章 免疫に関わる細胞や器官 (p.172)
			h 呼吸器系	2	解剖生理学 6章 呼吸器系 酸素を取り入れて二酸化炭素を排出するしくみ (p.130-131) 呼吸機能障害/循環機能障害 【図解】 呼吸器系 (p.12-13)/序章 呼吸・循環のしくみ (p.18-19) 疾患①呼吸器 1章 呼吸器の構造と機能 (p.12-19) 呼吸機能障害/循環機能障害 1章1節1項 呼吸器と呼吸機能 (p.22-25) ヘルスアセスメント 3章7節1項 肺(呼吸器系)の構造と機能:アセスメントの根拠になる復習事項 (p.89-91) 基礎看護技術 15章2節 呼吸の生理学的メカニズム (p.316-318)
			i 消化器系	3	解剖生理学 7章 消化器系 食物を摂取して消化・吸収し排泄するしくみ (p.160-161) 疾患③消化器 1章 消化器の構造と機能 (p.14-24) 基礎看護技術 13章2節2項 消化・吸収の生理学的メカニズム (p.266-269) 疾患⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 24章3節 糖質・脂質・タンパク質の代謝 (p.290-292)
			j 栄養と代謝系	3	解剖生理学 9章 内分泌系 内部の環境を整えるしくみ (p.218-219) 疾患③消化器 1章6節 肝臓の構造と機能 (p.22) 臨床生化学 1章 代謝総論 (p.12-18)/5章 エネルギー代謝の統合と制御 (p.106-112) ヘルスアセスメント 3章10節1項 腹部(消化器系)の構造と機能:アセスメントの根拠になる復習事項 (p.128-131)
			k 泌尿器系	2	解剖生理学 8章 泌尿器系 尿をつくるしくみ (p.194-195) 疾患⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 13章1節 尿路の構造と機能 (p.132-133) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 【図解】 泌尿器系 (p.12-13) 基礎看護技術 14章2節 排尿・排便の生理学的メカニズム (p.290-292)
			l 体温調節	2	解剖生理学 3章3節 体熱産生と体温 (p.76-81) 病態生理学 2章40節 発熱・低体温 (p.294-306) 疾患⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 24章2節 主なホルモンの分泌と作用 (p.280)/34章1節 ②感染症による高体温 (p.460) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章3節1項 体温を調節するしくみ (p.28) 基礎看護技術 4章2節5項 体温 (p.76-77)/16章2節 体温調節 (p.340-343)
			m 内分泌系	4	解剖生理学 9章 内分泌系 内部の環境を整えるしくみ (p.218-219) 臨床生化学 1章3節 ホルモンの作用と代謝の調節 (p.16-17) 疾患⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 24章1節 内分泌のしくみと主なホルモン (p.278-279), 2節 主なホルモンの分泌と作用 (p.280-289)
			n 性と生殖系	3	解剖生理学 10章 生殖系 子孫を残すしくみ (p.250-251) ヘルスアセスメント 3章11節1項 生殖器(女性/男性)と肛門:アセスメントの根拠になる復習事項 (p.142-144) 概論・リプロダクティブヘルスと看護 2章3節 ヒトの発生・性分化のメカニズム (p.34-35)/6章1節 女性の生殖器 (p.98-102), 2節 男性の生殖器 (p.102-103), 4節 性周期 (p.106-110), 5節 妊娠のメカニズム (p.111-113), 6節2項 性反応 (p.116-118) 疾患⑨女性生殖器 1章 女性生殖器の構造と機能 (p.12-19) 疾患⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 13章2節 男性生殖器の構造と機能 (p.134)
			o 妊娠・分娩・産褥の経過	4	解剖生理学 10章1節5項 妊娠と出産 (p.263-267) 母性看護の実践 2章2節2項 妊娠の成立 (p.25-28)/4章2節3項 分娩の経過 (p.122-128)/6章3節 産褥の生理 (p.191-198)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
10 人体の構造と機能	A 人体の基本的な構造と正常な機能	47	p 遺伝	1	臨床生化学 2章5節 核酸とヌクレオチド (p.40-45) / 6章 遺伝情報 (p.114-130) 病態生理学 1章8節2項 先天異常の原因 (p.81-82)
	B 人間の死	10	a 死の三徴候	5	病態生理学 1章序論3項 人間の死 (p.14-16) 基礎看護技術 22章5節2項 臨終後の身体的変化 (p.476) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章2節3項 予測性の有無別にみた身体機能悪化への対応方法 (p.81-82) 緩和ケア 8章5節2項 死亡の確認と死亡診断書 (p.250-251)
			b 死亡判定	0	基礎看護技術 22章5節2項 臨終後の身体的変化 (p.476) 緩和ケア 8章5節2項 死亡の確認と死亡診断書 (p.250-251)
			c 脳死	4	病態生理学 1章序論3項 人間の死 (p.14-16) 疾患⑤脳・神経 2章1節 ①意識障害とは (p.24-25) 脳・神経機能障害/感覚機能障害 4章 コラム 脳死 (p.214) 緩和ケア 8章5節2項 死亡の確認と死亡診断書 (p.250-251)
			d 死の受容	1	基礎看護技術 22章3節 危篤・終末時の心理的变化 (p.470-472) 成人看護学概論 2章4節 成人と死 (p.40-42) 災害看護 5章8節1項 遺族に必要な支援 (p.142-144)
11 疾患と徴候	A 主要な症状と徴候	60	a 意識障害	2	病態生理学 2章24節 意識障害 (p.214-221) 呼吸機能障害/循環機能障害 8章2節4項 意識障害・失神 (p.202-203) 疾患⑤脳・神経 2章1節 意識障害 (p.20-29) 脳・神経機能障害/感覚機能障害 3章2節2項 意識障害 (p.142-146)
			b ショック	3	病態生理学 2章6節 ショック (p.128-135) 臨床薬理学 6章1節1項 ショック (アナフィラキシーとアナフィラキシー様反応) (p.144) 呼吸機能障害/循環機能障害 6章10節 末梢性の循環障害—ショック (p.182-186) 疾患②循環器 2章8節 ショック (p.42-49) 疾患④血液/アレルギー・膠原病/感染症 11章2節5項 循環器症状 (ショック) (p.189) 造血機能障害/免疫機能障害 3章3節2項 アナフィラキシーショック (p.138-141)
			c 高体温、低体温	1	病態生理学 2章40節 発熱・低体温 (p.294-306) 基礎看護技術 16章2節5項 体温の異常 (p.342-343) 疾患⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 34章 体温調節機能障害 (p.459-465) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 5章 体温調節機能の障害 (p.100-120)
			d 脱水	1	病態生理学 2章42節 脱水 (p.314-318) 疾患⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 2章2節 脱水 (p.20-22) 内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 1章2節2項 水と電解質の異常とはどのような状態か (p.23-26) 高齢者看護の実践 1章1節2項 脱水 (p.19-23)
			e 黄疸	3	病態生理学 2章18節 黄疸 (p.183-186) 疾患③消化器 2章9節 黄疸 (p.53-57) 栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.124-127)
			f 頭痛	1	病態生理学 2章25節 頭痛 (p.222-227) 疾患⑤脳・神経 2章6節 頭痛 (p.58-60)
			g 咳嗽、喀痰	1	病態生理学 2章1節 咳嗽・喀痰・喀血 (p.102-108) 疾患①呼吸器 2章4節 咳嗽 (咳) / 喀痰 (痰) (p.28-31) 呼吸機能障害/循環機能障害 4章2節5項 咳・痰 (血痰・喀血) (p.93-94)
			h 吐血、喀血	1	病態生理学 2章1節 咳嗽・喀痰・喀血 (p.102-108), 13節 吐血・下血 (p.161-165) 疾患①呼吸器 2章5節 喀血/血痰 (p.31-32) 疾患③消化器 2章6節 吐血・下血 (p.42-46) 呼吸機能障害/循環機能障害 4章2節5項 咳・痰 (血痰・喀血) (p.93-94)
			i チアノーゼ	6	病態生理学 2章5節 チアノーゼ (p.125-127) 疾患①呼吸器 2章8節 チアノーゼ (p.34-35) 疾患②循環器 2章6節 チアノーゼ (p.36-38)

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
11 疾患と徴候	A 主要な症状と徴候	60	i チアノーゼ	6	呼吸機能障害／循環機能障害 4章2節1項 チアノーゼ (p.89)／8章2節8項 チアノーゼ (p.205-206)
			j 呼吸困難	3	病態生理学 2章2節 呼吸困難 (p.109-115) 疾患①呼吸器 2章2節 呼吸困難（息切れ）(p.22-26) 疾患②循環器 2章4節 呼吸困難 (p.29-33) 呼吸機能障害／循環機能障害 4章2節4項 呼吸困難 (p.91-92)／8章2節7項 呼吸困難 (p.205) 緩和ケア 2章5節 呼吸困難の治療と看護 (p.96-103)
			k 胸痛	2	病態生理学 2章3節 胸痛 (p.116-118) 疾患①呼吸器 2章3節 胸痛 (p.26-28) 疾患②循環器 2章2節1項 胸痛（胸部圧迫感）(p.19-23) 呼吸機能障害／循環機能障害 4章2節3項 胸痛 (p.90)／8章2節6項 胸痛 (p.204-205)
			l 不整脈	5	病態生理学 2章4節 不整脈 (p.119-124) 疾患②循環器 9章 刺激伝導系の障害 (p.212) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章7節 刺激伝導系の障害 (p.167-171) ヘルスアセスメント 3章8節4項 心電図によるアセスメント (p.110-114)
			m 腹痛、腹部膨満	2	病態生理学 2章7節 腹痛 (p.136-139), 16節 腹部膨満 (p.175-178) 疾患③消化器 2章7節 腹痛 (p.46-50), 8節 腹部膨満 (p.50-53) 栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.118-124) 疾患②循環器 2章2節3項 腹痛 (p.24-25) 疾患⑨女性生殖器 2章4節 ①種類・考えられる疾患 (p.25-26), 5節 ①種類・考えられる疾患 (p.27)
			n 悪心、嘔吐	4	病態生理学 2章12節 嘔気・嘔吐 (p.157-160) 疾患③消化器 2章4節 悪心・嘔吐 (p.36-40) 栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.114-116) 緩和ケア 2章4節1項 嘔気・嘔吐の治療と看護 (p.81-84)
			o 下痢	2	病態生理学 2章15節 下痢 (p.171-174) 疾患③消化器 2章10節 下痢 (p.57-59) 栄養代謝機能障害 3章3節1項 特徴的な症状とその看護 (p.138-140)
			p 便秘	2	病態生理学 2章14節 便秘 (p.166-170) 疾患③消化器 2章11節 便秘 (p.60-63) 栄養代謝機能障害 3章3節1項 特徴的な症状とその看護 (p.140-141) 緩和ケア 2章4節4項 便秘の治療と看護 (p.89-91)
			q 下血	2	病態生理学 2章13節 吐血・下血 (p.161-165) 疾患③消化器 2章6節 吐血・下血 (p.42-45) 栄養代謝機能障害 3章2節1項 特徴的な症状とその看護 (p.116-118)
			r 乏尿、無尿、頻尿、多尿	5	病態生理学 2章43節1項 頻尿 (p.319), 44節 尿量異常 (p.322-324) 疾患⑧腎／泌尿器／内分泌・代謝 2章1節 尿量の異常 (p.19-20)／14章1節 ③排尿に関する症状 (p.137) 疾患⑨女性生殖器 2章7節 ①定義・種類 (p.30-31), ②考えられる疾患 (p.31)
			s 浮腫	3	病態生理学 2章41節 浮腫 (p.307-313) 疾患②循環器 2章5節 浮腫 (p.33-35) 呼吸機能障害／循環機能障害 8章2節3項 浮腫 (p.201-202) 内部環境調節機能障害／性・生殖機能障害 1章2節2項 水と電解質の異常とはどのような状態か (p.24) 緩和ケア 2章6節 リンパ浮腫の治療と看護 (p.104-110)
			t 貧血	5	病態生理学 2章19節 貧血 (p.187-192) 疾患④血液／アレルギー・膠原病／感染症 2章1節 貧血 (p.19)／5章 貧血 (p.92) 造血機能障害／免疫機能障害 1章1節 貧血 (p.16-25) 疾患⑨女性生殖器 2章1節 ①種類・定義・考えられる疾患 (p.21)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
11 疾患と徴候	A 主要な症状と徴候	60	u 睡眠障害	0	病態生理学 2章46節 睡眠障害 (p.329-336) 緩和ケア 3章5節 不眠の治療と看護 (p.162-168) 高齢者看護の実践 1章4節7項 睡眠障害 (p.108-115) 精神障害と看護の実践 1章11節 睡眠-覚醒障害 (p.63-68)
			v 感覚過敏・鈍麻	1	病態生理学 2章32節 視力障害 (p.255-260), 33節 難聴 (p.261-265), 35節 味覚障害 (p.270-273), 36節 嗅覚障害 (p.274-277), 37節 しびれ (p.278-283) 疾患⑤脳・神経 2章5節 感覚異常 (p.55-58) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 5章4節 皮膚 (体性感覚)の障害と患者の看護 (p.246-254)
			w 運動麻痺	1	病態生理学 2章27節 運動麻痺 (p.233-238) 疾患⑤脳・神経 2章4節 ①運動麻痺とは (p.44-47), ②運動麻痺のある患者の看護 (p.47-49) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 1章1節2項 大脳の機能とその障害 (p.18-20), 3節2項 脳幹の機能とその障害 (p.24-25), 6節2項 脳神経の機能とその障害 (p.33-34), 8節2項 脳の動脈の機能とその障害 (p.39)／3章2節3項 片麻痺 (p.146-153), 4項 運動失調, 不随意運動 (p.154-158), 12項 顔面神経麻痺 (p.188-190) 疾患⑦運動器 2章5節 麻痺 (p.32-33)
			x けいれん	1	病態生理学 2章26節 痙攣とてんかん (p.228-232) 疾患⑤脳・神経 2章4節 ⑦けいれんとは (p.52-53), ⑧けいれんのある患者の看護 (p.53-55) 脳・神経機能障害／感覚機能障害 3章1節9項 てんかん患者 (p.126-129) 小児の発達と看護 3章2節3項 けいれん時のアセスメントと看護 (p.202-204) 小児の疾患と看護 11章2節 熱性けいれん (p.216-218)
			y 気分〈感情〉障害	1	公衆衛生 10章3節2項 気分障害 (p.179-180) 疾病と治療 14章2節1項 疾病の概念 (p.348), 2項 診断と治療 (p.348-351) 精神障害と看護の実践 1章1節2項 主な精神症状 (p.16), 4項 精神疾患の診断と分類 (p.17-19), 4節 抑うつ障害と双極性障害 (p.30) 高齢者看護の実践 2章2節1項 高齢者のうつ病の背景と特徴 (p.230-232)
	B 主要な疾患による健康障害と基本的な回復過程	31	a 生活習慣病	6	疾患⑧腎／泌尿器／内分泌・代謝 32章 糖代謝異常 (糖尿病) (p.387-442)／33章1節 肥満症・メタボリックシンドローム (p.444-449), 2節 脂質異常症 (p.449-453), 3節 高尿酸血症・痛風 (p.453-456) 臨床生化学 4-2章10節 脂肪細胞と生活習慣病 (p.87) 病態生理学 2章8節1項 原因と分類 (p.140) 臨床栄養学 2章2節6項 生活習慣病とエネルギー・栄養素との関連 (p.73-75) 栄養代謝機能障害 2章1節6項 脂肪肝 (p.77)／4章1節6項 脂肪肝患者の看護 (p.163) 成人看護学概論 7章2節 生活習慣病の発生要因と対応 (p.137-138) セルフマネジメント 7章1節 糖尿病に関する知識 (p.102-108)
			b がん	5	病態生理学 1章7節8項 がんの臨床・看護 (p.79-80) 緩和ケア 2章1節 身体症状概論 (p.46-49), 2節 疼痛の治療と看護 (p.50-75)
			c 感染症	11	臨床微生物・医動物 2章 宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体 (p.34-103)／3章 宿主の因子が影響する感染症と病原体 (p.106-178)／4章1節 感染症と臨床微生物・医動物 (p.182-187) 疾患④血液／アレルギー・膠原病／感染症 18章 感染症の定義と炎症の4徴候 (p.310)
			d 精神疾患	4	精神障害と看護の実践 1章 精神症状と精神疾患 (p.15-87)
			e 小児の疾患	1	小児の疾患と看護 2章 遺伝性疾患・染色体異常 (p.30-46)／3章 代謝・内分泌疾患 (p.48-66)／4章 免疫・アレルギー・膠原病 (p.68-85)／5章 感染症 (p.88-118)／7章 循環器疾患 (p.144-160)／8章 腎・泌尿器疾患 (p.162-176)／9章 消化器疾患 (p.178-192)／10章 血液・腫瘍疾患 (p.194-212)／11章 神経・筋・精神疾患 (p.214-232)／12章 外科疾患 (p.234-274)

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所	
11 疾患と徴候	B 主要な疾患による健康障害と基本的な回復過程	31	e 小児の疾患	1	呼吸機能障害／循環機能障害 6章4節1項 心臓の形態異常とはどのような状態か (p.152-153) 運動機能障害 5章4節 先天性および幼児・小児に特有の運動機能障害とその疾患・治療 (p.75-76)	
			f 高齢者の疾患	3	高齢者の健康と障害 4章6節1項 高齢者に起こりやすい疾患の特徴 (p.200-203) 高齢者看護の実践 1章6節 呼吸・循環機能障害を支える看護 (p.145-174), 7節 その他高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護 (p.175-199)／2章1節1項 認知症の病態と要因 (p.202-204) 精神障害と看護の実践 1章13節 神経認知障害 (p.74-80) 疾患⑨女性生殖器 12章2節 老年期の疾患 (p.293-297)	
	C 基本的な臨床検査値の評価	4	a 血液学検査	1	ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養／代謝パターンのアセスメント (p.279) 疾患④血液／アレルギー・膠原病／感染症 3章2節 末梢血検査 (p.44-46) 解剖生理学 4章1節 血液の機能と成分 (p.84-87) 病態生理学 2章22節3項 アセスメント (p.208-209) 小児の疾患と看護 10章 血液・腫瘍疾患 (p.194-212)	
			b 血液生化学検査	2	ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養／代謝パターンのアセスメント (p.279) 疾患④血液／アレルギー・膠原病／感染症 3章2節 末梢血検査 (p.44-46) 病態生理学 2章10節3項 アセスメント (p.149-150) 呼吸機能障害／循環機能障害 1章4節2項 肺循環障害に伴う症状とその検査 (p.47-48)	
			c 免疫血清学検査	0	疾患④血液／アレルギー・膠原病／感染症 19章4節 血清学的診断法 (p.333) ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養／代謝パターンのアセスメント (p.279) 臨床微生物・医動物 2章8節 皮膚に発疹が出現するウイルス感染症とリケッチア感染症 (p.92-96)	
			d 尿検査	1	ヘルスアセスメント 6章3節2項 栄養／代謝パターンのアセスメント (p.279) 疾患⑧腎／泌尿器／内分泌・代謝 3章2節 尿検査 (p.34-37) 臨床微生物・医動物 2章5節1項 尿路感染症の種類と病原体, 尿検査 (p.74-76) 疾病と治療 4章16節2項 急性膵炎—診断と治療 (p.121), 5項 慢性膵炎—診断と治療 (p.123)	
	12 薬物の作用とその管理	A 主な薬物の作用と副作用(有害事象)	30	a 抗感染症薬	4	臨床薬理学 5章1節 細菌感染症 (p.124-131), 2節 ウイルス感染症 (p.132-134) 臨床微生物・医動物 6章2節1項 抗感染症薬 (p.225-233) 疾患④血液／アレルギー・膠原病／感染症 20章1節 化学療法 (p.343)
				b 抗癌薬	4	臨床薬理学 3章1節 がんを使用する薬 (p.68-88) 臨床生化学 4-4章4節 抗がん薬と免疫抑制薬の作用 (p.103-104) 緩和ケア 2章8節2項 化学療法に伴う苦痛の緩和 (p.118-124)
				c 強心薬、抗不整脈薬	2	臨床薬理学 2章5節 不整脈 (p.48-49)／6章2節1項 循環改善のために使用する薬 (p.145-146) 疾患②循環器 4章1節4項 心筋の収縮を強める薬 (p.97-98), 5項 心拍数を下げる薬 (p.98), 6項 心拍の乱れを整える薬 (p.98-99)
				d 狭心症治療薬	3	臨床薬理学 2章3節 狭心症 (p.42-43) 疾患②循環器 4章1節2項 冠血流を改善する薬 (p.93-94) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章6節3項 冠血流障害(虚血性心疾患)を引き起こす主な疾患と治療 (p.162-163)
e 抗血栓薬				1	臨床薬理学 2章4節 心筋梗塞 (p.44-47) 疾患②循環器 4章1節7項 血栓をできにくくする薬 (p.99-101) 呼吸機能障害／循環機能障害 6章6節3項 冠血流障害(虚血性心疾患)を引き起こす主な疾患と治療 (p.163-164)	
f 降圧薬、昇圧薬				3	臨床薬理学 2章2節 高血圧 (p.37-42)／6章2節1項 循環改善のために使用する薬 (p.145-147) 疾患②循環器 4章1節1項 ①降圧薬 (p.92), 3項 心臓の負担を軽くする薬 (p.94-96)	

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
12 薬物の作用とその管理	A 主な薬物の作用と副作用(有害事象)	30	g 利尿薬	0	臨床薬理学 2章2節 高血圧 (p.37-42)
			h 消化性潰瘍治療薬	0	臨床薬理学 8章1節1項 消化性潰瘍治療薬 (p.184-190) 疾患③消化器 4章5節 薬物療法 (p.142-149)
			i 下剤	1	臨床薬理学 8章1節5項 瀉下薬 (下剤) (p.195-200) 疾患③消化器 4章5節 薬物療法 (p.142-149)
			j 抗アレルギー薬	0	臨床薬理学 7章1節4項 抗アレルギー薬 (p.168-169)
			k 副腎皮質ステロイド薬	4	臨床薬理学 7章1節3項 ステロイド(吸入・注射) (p.165-168) / 資料8. ステロイド (p.260-263)
			l 糖尿病治療薬	3	臨床薬理学 2章8節 糖尿病 (p.54-60) 疾患②循環器 4章1節1項 ③糖尿病治療薬 (p.93) 疾患⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 32章4節4項 薬物療法 (p.410-419) セルフマネジメント 7章1節4項 糖尿病の治療 (p.105-107)
			m 中枢神経作用薬	1	臨床薬理学 4章1節 中枢神経系の働きと薬 (p.90-91), 2節 抗てんかん薬 (p.91-95), 3節 パーキンソン病治療薬 (p.96-102) / 7章2節1項 鎮咳薬 (p.169-171) / 8章1節3項 制吐薬, 鎮吐薬 (p.191-195) 精神障害と看護の実践 3章2節 薬物療法 (p.109-119)
			n 麻薬	3	臨床薬理学 1章1節3項 医薬品の分類 (p.15) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章1節3項 苦痛緩和の方法 (p.61-62) 緩和ケア 2章2節3項 がん疼痛の治療と看護 (p.58-70), 4項 がん疼痛を有する患者の看護 (p.70-72)
	o 消炎鎮痛薬	1	臨床薬理学 7章3節2項 非ステロイド性抗炎症薬 (NSAIDs) (p.177-181) 運動機能障害 3章4節1項 関節の薬物療法 (p.53-54) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 2章1節3項 苦痛緩和の方法 (p.61-62) 緩和ケア 2章2節3項 がん疼痛の治療と看護 (p.61)		
	B 薬物の管理	14	a 禁忌	6	臨床薬理学 1章3節2項 医薬品添付文書の読み方 (p.26-28)
b 保存方法			5	臨床薬理学 1章3節3項 処方から投与まで (p.28-34)	
c 薬理効果に影響する要因			1	基礎看護技術 19章3節5項 薬剤の効果(薬効)に影響を与える要因 (p.403-404)	

#### 目標Ⅳ 看護技術に関する基本的な知識を問う。

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
13 看護における基本技術	A コミュニケーション	7	a 言語的コミュニケーション	2	看護学概論 7章1節4項 コミュニケーションのタイプ (p.150-151), 3節3項 カウンセラーとしての役割 (p.154-155) ヘルスアセスメント 2章3節3項 問診技法 (p.25-26) 基礎看護技術 2章1節5項 コミュニケーションの種類とその概要 (p.20-21), 6項 言語的コミュニケーション (p.21-22), 4節3項 インフォームドコンセントと看護者の役割 (p.35-37) セルフマネジメント 3-4章2節2項 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション (p.74) 小児看護技術 1章1節2項 援助関係を形成していく上で重要なコミュニケーション (p.15)
			b 非言語的コミュニケーション	1	看護学概論 7章1節4項 コミュニケーションのタイプ (p.150-151), 3節3項 カウンセラーとしての役割 (p.154-155) ヘルスアセスメント 2章3節3項 問診技法 (p.25-26) 基礎看護技術 2章1節5項 コミュニケーションの種類とその概要 (p.20-21), 7項 非言語的コミュニケーション (p.22-25), 4節3項 インフォームドコンセントと看護者の役割 (p.35-37) セルフマネジメント 3-4章2節2項 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション (p.74) 小児看護技術 1章1節2項 援助関係を形成していく上で重要なコミュニケーション (p.15)
			c 面接技法	3	看護学概論 7章3節3項 カウンセラーとしての役割 (p.155), 4節1項 問題を明確化して看護ケアを行う (p.156)

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
13 看護における基本技術	A コミュニケーション	7	c 面接技法	3	ヘルスアセスメント 2章3節2項 有効な問診のための心掛け (p.24-25) 基礎看護技術 2章2節 看護場面での効果的なコミュニケーション技術 (p.25-28), 3節2項 ロールプレイ (p.30-31), 4節1項 援助過程とコミュニケーション (p.33-35) / 3章2節 カウンセリング (p.54-61) 小児看護技術 1章1節 援助関係を形成する上で必要な基礎知識 (p.14)
	B 看護過程	6	a 情報収集、アセスメント	4	看護学概論 8章1節3項 看護過程；五つのステップの順序と定義 (p.163-164), 2節1項 看護過程の五つの要素を正確に理解する (p.165) ヘルスアセスメント 1章3節1項 ヘルスアセスメントにおけるフィジカルアセスメント (p.14) / 7章2節 事例を用いた記録方法と看護計画 (p.322-343) 基礎看護技術 9章2節1項 アセスメントとは (p.166-167), 2項 アセスメントの技術 (p.167-170), 3項 アセスメントの例 (事例紹介) (p.170-183)
			b 計画立案	0	看護学概論 8章2節3項 記録の書き方 (p.167) ヘルスアセスメント 7章2節2項 ゴードンの11の機能的健康パターンを用いた情報の整理 (p.335-337), 3項 ヘンダーソンの14の構成要素を用いた情報の整理 (p.342-343) 基礎看護技術 9章4節1項 目標の設定 (p.184-185), 2項 計画の立案 (p.185-186)
			c 実施	0	看護学概論 8章1節2項 看護過程発展の歴史 (p.162), 3項 看護過程；五つのステップの順序と定義 (p.163), 2節3項 記録の書き方 (p.167) ヘルスアセスメント 7章2節4項 実施・評価 (p.343) 基礎看護技術 9章5節 実施 (p.186)
			d 評価	0	看護学概論 8章1節3項 看護過程；五つのステップの順序と定義 (p.163) ヘルスアセスメント 7章2節4項 実施・評価 (p.343) 基礎看護技術 9章6節 評価 (p.186-187)
			e 記録方式	1	看護学概論 1章3節4項 指針・ガイドライン (p.35-36) / 8章2節3項 記録の書き方 (p.167) ヘルスアセスメント 7章2節 事例を用いた記録方法と看護計画 (p.322-343) 基礎看護技術 9章7節 看護記録の作成と管理 (p.187-190)
			C フィジカルアセスメント	15	a バイタルサインの測定
	b 意識レベルの評価	4			病態生理学 2章24節3項 アセスメント (p.217-219) ヘルスアセスメント 2章5節2項 バイタルサインの測定 (p.31-32) 基礎看護技術 4章2節1項 意識 (p.65-68) 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.172-173)
	c 呼吸音聴取	3			ヘルスアセスメント 2章4節4項 聴診：auscultation (p.29-30) / 3章7節2項 肺の問診および視診、触診、打診、聴診 (p.91-96) 基礎看護技術 4章2節2項 呼吸 (p.68-70), 4節1項 フィジカルアセスメントテクニク (p.82-83), 3項 フィジカルアセスメントのチェックリスト (p.89) 小児看護技術 9章1節1項 呼吸測定 (p.204)
	d 腸蠕動音聴取	0			ヘルスアセスメント 2章4節4項 聴診：auscultation (p.29-30) / 3章10節2項 腹部（消化器系）の問診および視診、聴診、打診、触診 (p.132-139) 基礎看護技術 4章4節1項 フィジカルアセスメントテクニク (p.82-83), 3項 フィジカルアセスメントのチェックリスト (p.91)
	e 運動機能の観察	3			運動機能障害 6章3節1項 関節のアセスメント (p.97-105) / 7章1節2項 日常生活の観察 (p.116-118) / 8章2節1項 基本的動作と日常生活活動の障害 (p.152-156) ヘルスアセスメント 3章12節2項 筋・骨格系の問診、視診、触診 (p.156-165)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
14 日常生活援助技術	A 食事	8	a 食事の環境整備、食事介助	4	基礎看護技術 13章5節2項 経口栄養の援助 (p.279-283) 栄養代謝機能障害 3章1節1項 特徴的な症状とその看護 (p.96-107) 小児看護技術 2章1節2項 空間 (p.32) / 3章1節 子どもへの食事援助の実際 (p.58), 2節5項 食べる機能に障害のある子どもへの援助 (p.88) 地域療養を支えるケア 7章2節1項 食のアセスメントと援助 (p.211-212)
			b 誤嚥の予防	4	基礎看護技術 7章5節 誤嚥・窒息の予防策 (p.147-148) 医療安全 5章2節5項 誤嚥 (p.147-148) 臨床栄養学 4章3節 嚥下障害のある人のための食事 (p.138-144) 小児看護技術 2章4節4項 その他の事故防止：誤飲・誤嚥、外傷、窒息など (p.50)
	B 排泄	18	a 床上排泄	2	基礎看護技術 14章5節1項 床上での排尿・排便の援助 (p.298-300), 2項 尿失禁・便失禁のある患者のおむつを用いた援助 (p.301-302) 小児看護技術 4章2節 排泄行動自立への援助 (p.100)
			b 導尿	5	基礎看護技術 14章5節6項 導尿 (p.306-310) 小児看護技術 4章4節 導尿 (CIC) (p.103-104)
			c 浣腸	6	基礎看護技術 14章5節7項 浣腸 (p.310-312) 小児看護技術 4章3節 浣腸 (p.101)
			d 摘便	1	基礎看護技術 14章5節8項 摘便 (p.312-313) 地域療養を支えるケア 7章2節2項 排泄のアセスメントと援助 (p.213-214)
			e 失禁のケア	2	基礎看護技術 14章5節2項 尿失禁・便失禁のある患者のおむつを用いた援助 (p.301-302) 栄養代謝機能障害 3章3節1項 特徴的な症状とその看護 (p.141-143)
	C 活動と休息	12	a 体位、体位変換	2	基礎看護技術 8章1節 安楽な体位 (p.152-159) / 10章5節1項 体位変換 (p.200-204) 小児看護技術 10章1節 安楽な体位 (p.246)
			b 運動	0	基礎看護技術 10章3節1項 活動・運動の内容 (p.195-196) 運動機能障害 7章1節2項 日常生活の観察 (p.116-118) 脳・神経機能障害 / 感覚機能障害 3章2節4項 運動失調、不随意運動 (p.154-158) リハビリテーション看護 5章3節2項 運動機能障害のアセスメント (p.95-101), 3項 日常生活への影響 (p.101)
			c 移動、移送	4	基礎看護技術 10章5節4項 移動・移送 (p.213-217)
			d ボディメカニクス	3	基礎看護技術 8章2節 ボディメカニクス (p.160-163)
			e 廃用症候群の予防	3	健康危機状況 / セルフケアの再獲得 2章2節1項 身体機能悪化の予期 (p.76) 災害看護 5章4節 高齢者に必要な支援と看護 (p.115-118) 疾患⑦運動器 18章3節 廃用症候群 (生活不活発病) (p.303)
			f 睡眠	0	基礎看護技術 11章1節2項 睡眠 (p.220-221), 2節3項 睡眠の分類と役割 (p.222-224), 4項 睡眠の調節 (p.224-226) 高齢者看護の実践 1章4節6項 睡眠 (p.100-107) 小児看護技術 2章3節 睡眠と休息に適した環境づくり (p.40)
	D 清潔	14	a 入浴	2	基礎看護技術 12章2節2項 入浴と生体の反応 (p.238-239), 5節3項 入浴の介助 (p.245-247) 小児看護技術 5章2節 入浴 (p.114) 地域療養を支えるケア 7章2節3項 清潔のアセスメントと援助 (p.214-215)
b 清拭			1	基礎看護技術 12章2節5項 清拭洗浄剤と皮膚の反応 (p.239), 5節6項 全身清拭 (p.252-254) 小児看護技術 5章3節 清拭 (p.117) 地域療養を支えるケア 7章2節3項 清潔のアセスメントと援助 (p.214-215)	
c 口腔ケア			2	基礎看護技術 12章5節4項 口腔ケア (p.248-249) 小児看護技術 5章5節 口腔ケア (p.121) 地域療養を支えるケア 7章2節3項 清潔のアセスメントと援助 (p.214-215)	

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
14 日常生活援助技術	D 清潔	14	d 洗髪	1	基礎看護技術 12章2節4項 頭皮のケア (p.239), 5節5項 洗髪 (p.250-251) 小児看護技術 5章4節 洗髪 (p.120) 地域療養を支えるケア 7章2節3項 清潔のアセスメントと援助 (p.214-215)
			e 部分浴	1	基礎看護技術 12章5節8項 手浴・足浴 (p.256-257) 小児看護技術 5章3節 清拭 (p.119) 地域療養を支えるケア 6章2節2項 援助の実際と技術 (p.196-198)
			f 陰部洗浄	2	基礎看護技術 12章5節7項 陰部洗浄 (p.255) 小児看護技術 5章1節 沐浴 (p.113), 3節 清拭 (p.119)
			g 整容	1	基礎看護技術 12章5節2項 整容 (p.245) 小児看護技術 5章1節 沐浴 (p.113)
			h 寝衣交換	4	基礎看護技術 12章5節9項 寝衣交換 (p.258-261) 小児看護技術 5章6節 衣服の交換 (p.126)
15 患者の安全・安楽を守る看護技術	A 療養環境	5	a 病室環境	3	基礎看護技術 5章2節2項 病室の環境と病床の整備 (p.98-100) 小児看護技術 2章1節 子どもの視点に立った病院の物理的環境づくり (p.30-31), 3節 睡眠と休息に適した環境づくり (p.40) 医療安全 9章3節1項 環境調整技術に伴うリスクと安全 (p.229-230)
			b 共有スペース	0	基礎看護技術 5章2節1項 快適さを保つ構造：プライバシーを保つアメニティ (p.96-98) 小児看護技術 2章1節 子どもの視点に立った病院の物理的環境づくり (p.30-33)
			c 居住スペース	0	基礎看護技術 5章2節1項 快適さを保つ構造：プライバシーを保つアメニティ (p.96-98), 2項 病室の環境と病床の整備 (p.98-100) 小児看護技術 2章1節 子どもの視点に立った病院の物理的環境づくり (p.30-31), 2節3項 発達段階に応じた生活環境の調整とセルフケア力を高める環境づくり (p.37)
	B 医療安全対策	4	a 転倒・転落の防止	1	基礎看護技術 7章2節2項 転倒・転落の予防策 (p.143-144) 小児看護技術 2章4節2項 転倒を防止する環境づくり (p.46), 3項 転落を防止する環境づくり (p.47) 医療安全 5章2節4項 転倒転落 (p.137-146) / 6章2節3項 在宅看護における介護事故とその対応 (p.172-173) / 9章3節1項 環境調整技術に伴うリスクと安全 (p.229-230) 運動機能障害 8章3節2項 転倒の予防 (p.162-163)
			b 誤薬の防止	0	基礎看護技術 7章4節 誤薬の予防策 (p.146-147) / 19章4節1項 安全で確実な与薬のための知識・技術・態度 (p.405-406) 医療安全 5章2節1項 誤薬 (p.123-133) / 6章2節2項 在宅看護における医療事故とその対応 (p.168-172)
			c 患者誤認の防止	2	医療安全 5章2節2項 患者取り違え (誤認) (p.135-136) 周術期看護 5章2節1項 患者確認 (p.76-77)
			d 誤嚥・窒息の防止	1	基礎看護技術 7章5節 誤嚥・窒息の予防策 (p.147-148) 医療安全 5章2節5項 誤嚥 (p.147-148) 小児看護技術 2章4節4項 その他の事故防止：誤飲・誤嚥, 外傷, 窒息など (p.50) 地域療養を支えるケア 7章2節1項 食のアセスメントと援助 (p.211-212)
			e 情報伝達と共有・管理	0	基礎看護技術 7章1節3項 安全管理対策 (p.140-142) 看護管理 3章5節 情報の管理 (p.94-98) 医療安全 5章2節10項 電子カルテ等情報伝達時のトラブル (p.161-163)
	C 感染防止対策	15	a 標準予防策〈スタンダードプリコーション〉	6	基礎看護技術 6章6節1項 スタンダードプリコーション (標準予防策) (p.131) 医療安全 7章2節1項 標準予防策 (スタンダードプリコーション) とは (p.184)
			b 手洗い	0	基礎看護技術 6章4節2項 手指衛生 (p.117-119) 医療安全 7章2節2項 標準予防策の内容と実際 (p.184-185)
			c 無菌操作	1	基礎看護技術 6章4節4項 無菌操作 (p.120-123)

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保険制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所
15 患者の安全・安楽を守る看護技術	C 感染防止対策	15	d 滅菌と消毒	3	基礎看護技術 6章4節6項 滅菌と消毒 (p.126-128) 臨床薬理学 5章5節 消毒薬 (p.137-140)
			e 針刺し・切創の防止	1	基礎看護技術 6章4節7項 その他の援助技術 (p.129-130) 医療安全 5章2節3項 針刺し (p.136-137) / 7章2節3項 針刺し・切創による感染防護策 (p.185-186)
			f 感染性廃棄物の取り扱い	2	基礎看護技術 19章7節1項 感染予防 (医療廃棄物の取り扱い) (p.429-430) / 6章4節7項 その他の援助技術 (p.128-130) 看護をめぐる法と制度 6章10節3項 生活環境を保全 (環境衛生や関連営業の衛生) するための法 (p.323-325) 医療安全 7章2節5項 使用済み器材の適切な廃棄処理 (p.187)
16 診療に伴う看護技術	A 栄養補給	8	a 経管・経腸栄養法	6	臨床栄養学 4章4節1項 経管栄養 (p.145-147) 基礎看護技術 13章5節3項 経管栄養の援助 (p.284-287) 小児看護技術 3章2節1項 経管栄養法 (p.70), 2項 胃瘻カテーテルから栄養剤を注入する方法 (p.76) 地域療養を支えるケア 7章2節7項 在宅経管栄養法 (home enteral nutrition : HEN) (p.228-230) 医療安全 9章3節2項 食事の援助技術に伴うリスクと安全 (p.230)
			b 経静脈栄養法	2	臨床栄養学 4章4節2項 中心静脈栄養 (p.148-149) 基礎看護技術 13章5節4項 高カロリー輸液, 中心静脈栄養 (p.287-288) 小児看護技術 3章2節3項 中心静脈栄養法 (p.80) 地域療養を支えるケア 7章2節8項 在宅中心静脈栄養法 (home parenteral nutrition : HPN) (p.230-231)
	B 薬物療法	12	a 与薬方法	6	基礎看護技術 19章4節 与薬のための援助技術 (p.405-409), 5節 注射のための援助技術 (p.410-425) 小児看護技術 7章 与薬の技術 (p.150) 医療安全 9章3節8項 与薬の技術に伴うリスクと安全 (p.235)
			b 薬効・副作用 (有害事象) の観察	6	基礎看護技術 19章4節2項 与薬法 (p.407-409) 小児看護技術 6章3節 吸入 (p.141) / 7章4節3項 静脈注射 (p.159), 5節 輸液管理 (p.162)
	C 輸液・輸血管理	10	a 刺入部位の観察	1	基礎看護技術 19章5節3項 注射の実際 (p.423-425) 小児看護技術 7章4節1項 皮下注射 (p.157)
			b 輸液ポンプ、シリンジポンプ	4	基礎看護技術 19章5節3項 注射の実際 (p.418-419) 小児看護技術 3章2節3項 中心静脈栄養法 (p.83), 5節 輸液管理 (p.160) 医療安全 5章2節8項 医療機器のトラブル (p.152-157)
			c 点滴静脈内注射	2	基礎看護技術 19章5節3項 注射の実際 (p.418-425) 小児看護技術 3章5節 輸液管理 (p.160)
			d 輸血	1	基礎看護技術 19章6節2項 輸血の実際 (p.427-429) 医療安全 5章2節 コラム 輸血 (p.134)
	D 採血	9	a 穿刺部位	1	基礎看護技術 18章3節8項 血液検査 (p.382-384) 小児看護技術 9章2節1項 採血 (p.219)
			b 採血方法	7	基礎看護技術 18章3節8項 血液検査 (p.382-384) 小児看護技術 9章2節1項 採血 (p.220)
	E 電法	7	a 電法の種類と適応	1	基礎看護技術 16章3節 電法 (p.343-345), 4節 電法の実際 (p.346-351) 小児看護技術 6章6節 体温の調整 (温電法・冷電法を含む) (p.146)
			b 温電法	5	基礎看護技術 16章4節1項 温電法 (p.346-349) 小児看護技術 6章6節 体温の調整 (温電法・冷電法を含む) (p.146)
c 冷電法			1	基礎看護技術 16章4節2項 冷電法 (p.349-351) 小児看護技術 6章6節 体温の調整 (温電法・冷電法を含む) (p.146)	
F 呼吸管理	15	a 酸素療法の原則	2	基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336) 疾患①呼吸器 4章1節 酸素療法 (p.62-69) 小児看護技術 6章1節 酸素療法 (p.132)	
		b 酸素ボンベ	3	基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336) 疾患①呼吸器 4章1節 酸素療法 (p.62-69)	

大項目	中項目	出題数※	小項目	出題数※	ナーシング・グラフィカ 該当箇所		
16 診療に伴う看護技術	F 呼吸管理	15	c 酸素流量計	1	基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336) 疾患①呼吸器 4章1節 ①酸素療法とは (p.62-63)		
			d 鼻腔カニューラ	0	基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336) 疾患①呼吸器 4章1節 ①酸素療法とは (p.62-63) 小児看護技術 6章1節 酸素療法 (p.133)		
			e 酸素マスク	1	基礎看護技術 15章5節4項 酸素療法 (p.331-336) 小児看護技術 6章1節 酸素療法 (p.133) 疾患①呼吸器 4章1節 ①酸素療法とは (p.62-63) 呼吸機能障害/循環機能障害 4章4節4項 人工呼吸療法 (p.106-110)		
			f ネブライザー	0	基礎看護技術 15章5節3項 吸入療法 (p.328-331) 小児看護技術 6章3節 吸入 (p.141) 疾患①呼吸器 4章3節 ②薬物療法の看護 (p.88) 呼吸機能障害/循環機能障害 4章4節1項 吸入療法 (p.102-104)		
			g 口腔内・鼻腔内吸引	1	基礎看護技術 18章4節3項 吸引 (p.392-395) / 15章5節3項 吸入療法 (p.328-331) 小児看護技術 6章2節1項 鼻腔・口腔の吸引 (p.136)		
			h 気管内吸引	5	基礎看護技術 15章5節3項 吸入療法 (p.330-331) / 18章4節3項 吸引 (p.392-395) 小児看護技術 6章2節2項 気管吸引 (p.137)		
			i 体位ドレナージ	2	基礎看護技術 15章5節2項 痰を喀出させる方法 (p.324-328) 小児看護技術 6章4節 体位ドレナージ (p.143) 疾患①呼吸器 6章3節 ②無気肺患者の看護 (p.127-128) 呼吸機能障害/循環機能障害 4章4節4項 人工呼吸療法 (p.106-110)		
			G 救命救急処置	15	a 気道の確保	2	基礎看護技術 21章3節1項 心肺蘇生 (p.453-457), 3項 気道異物除去 (p.459-460) 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.175) 災害看護 8章3節2項 災害時の外傷初期診療 (p.203-207)
					b 人工呼吸	0	基礎看護技術 21章3節1項 心肺蘇生 (p.453-457) 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.178)
	c 胸骨圧迫	2			基礎看護技術 21章3節1項 心肺蘇生 (p.453-457) 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.176)		
	d 直流除細動器	3			基礎看護技術 21章3節2項 除細動 (p.457-458)		
	e 自動体外式除細動器 (AED)	1			基礎看護技術 21章3節2項 除細動 (p.457-458) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.39-40) 小児看護技術 8章2節1項 一次救命処置 (心肺蘇生法) (p.180)		
	f 止血法	0			基礎看護技術 21章4節 応急処置 (p.460-462) 災害看護 8章3節2項 災害時の外傷初期診療 (p.203-207), 3項 代用品を利用した応急処置 (p.207-208)		
	g 体温管理	0			基礎看護技術 21章4節 応急処置 (p.462) 災害看護 8章3節2項 災害時の外傷初期診療 (p.207)		
	h トリアージ	6			災害看護 3章2節4項 トリアージと法律上の問題 (p.57-58) / 8章2節 トリアージ: Triage (p.199-202) 基礎看護技術 21章2節 救急時における看護者の役割 (p.451) 看護学概論 13章7節 災害看護に必要な知識と技術 (p.254-256) 健康危機状況/セルフケアの再獲得 1章3節2項 救命救急治療を必要とする状況 (p.40-41)		
	H 皮膚・創傷の管理	11	a 包帯法	2	基礎看護技術 20章4節2項 包帯法 (p.442-447)		
			b 創傷管理	3	基礎看護技術 20章4節1項 創傷処置 (p.440-442) 臨床看護総論 3章4節4項 創傷処置 (p.133-134)		
			c 褥瘡の予防・処置	6	基礎看護技術 20章3節 褥瘡の管理 (p.438-440) 地域療養を支えるケア 7章2節9項 良肢位の保持と褥瘡予防 (p.232-233) 臨床薬理学 9章7節 皮膚障害 (p.230-232)		

必修問題

人体の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

健康支援と社会保障制度

基礎看護学

成人看護学

老年看護学

小児看護学

母性看護学

精神看護学

在宅看護論

看護の統合と実践